

材質の違いからみる 外壁

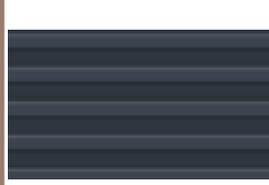
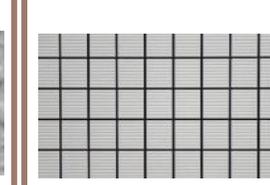
ホームテくんのお勧めは
窯業系と金属系！



※コーキング:サイディングの継ぎ目に使用するシーリング材

※チョーキング:外壁を触ると手に粉がつく状態。塗料が劣化し防水効果がなくなってきたサインです。

※耐用年数やメンテナンス周期は、あくまでも目安です。寒冷地(凍害)・沿岸地域(塩害)である秋田市は外壁に負担がかかりやすいので、定期的な点検をお勧めいたします。

窯業系サイディング	金属系サイディング	樹脂系サイディング	木質系サイディング	モルタル	タイル (マンション)	ALC (マンション)
						
メリット 国内シェア70%超のためカラーやデザインが豊富！高級感がありながらコストも良好♪凍害に強いタイプも増えてきている！！	メリット 耐久性に優れているためメンテナンス周期が長い！凍害に強いので寒冷地におススメ♪軽量のため重ね張りにも最適👉	メリット 北米でメジャーな外壁材。使用するだけで輸入住宅のような雰囲気👉耐久性に優れており、凍害も起こりにくい！	メリット 自然と調和した、木の温もりが感じられる外壁材。不燃処理を施すことで防火性・耐火性を備えるものが増えてきている！	メリット デザインの自由度が高い♪手作業の温もりがあり、防火性・耐火性に優れている！	メリット 重厚感のあるワンランク上の仕上がりに👉耐久性が非常に高く、雨や紫外線にも強い！	メリット 水に浮くほど軽い、軽量気泡コンクリートパネルで建物に負担を与えない！断熱性・耐火性も高く、優秀な外壁材♪
デメリット コーキングが経年劣化してしまう💧蓄熱性が高く、冬は良いが夏は暑くなりやすい。	デメリット コーキングの経年劣化。塩害やもらいサビなどが起こることも💧	デメリット 耐火性が低い。日光に弱く日焼けする上、屋内も暑くなる💧薄い素材のため加工しづらく、デザインのバリエーションが少ない💧	デメリット 水に弱く、腐食や変色、シロアリ被害につながりやすい💧木材価格高騰もあり、メンテナンスコストがかかる💧	デメリット 工場生産ではないため職人の腕によるところが大きく、工期も長め💧張替不可のため、剥ぎ取るには解体費用がかかる。	デメリット 初期費用が高い💧コーキング等の劣化による「浮き」や「剥がれ」で水が浸入することも💧	デメリット 多孔構造のため防水性が低く、防水性・耐久性の高い塗料で仕上げする必要がある💧
耐用年数 20～30年 7～8年周期でのメンテナンスが理想的！	耐用年数 20～30年 10～15年周期でのメンテナンスが理想的！	耐用年数 30～40年 ほぼメンテナンス不要！	耐用年数 10～20年 5～7年周期でのメンテナンスが理想的！	耐用年数 20～30年 こまめなメンテナンスで半永久的に寿命が延びる！	耐用年数 30～40年 10～15年周期でのメンテナンスが理想的！	耐用年数 30～40年 10～15年周期でのメンテナンスが理想的！
メンテナンス チョーキングの症状が出たら塗装が必要なサイン。状態に応じて重ね張りや張替も必要。	メンテナンス サビを放置すると穴が開く可能性があるため塗装や補修、張替などが必要。	メンテナンス 継ぎ足しできないサイディングのため、コーキングの劣化はない。日焼けや凹みが気になる場合は張替を。	メンテナンス 木材・釘が劣化しやすいので塗装や補修で早めに修繕する必要がある。カビやコケ、ヒビ割れ等がある場合は張替を。	メンテナンス 地震などでヒビ割れしやすいので補修が重要。左官工事で塗り直すか軽量の金属系サイディングで重ね張りする方法がある。	メンテナンス 深目地は雨水が滞留しやすいので注意が必要！コーキングの打ち直して補修できることが多く、維持費用は抑えられる。	メンテナンス 水に弱いため、防水性の高い塗料で表面を保護する必要がある。定期的な塗装が必須！

